令和元年度第1回　大阪介護支援専門員協会住之江区支部研修会

『認知症と口腔ケア』

口腔ケアは健康維持のため、終末期まで経口摂取するために日常的に必要なことである。口腔ケアを怠ると狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、誤嚥性肺炎などの重篤な全身疾患の発症が高まることが知られている。若年者でも口腔ケアについて、その方法や道具の選び方にも改善の余地があることが指摘されており、不適切な習慣のまま認知症になった場合、その後に改善することが非常に難しい。そのため早期からの予防的な取り組みが重要である。また認知症になった後は口腔内の清潔保持が行いにくいため、多職種での観察やケア介入が必要となってくる。口腔内の清潔保持から摂食嚥下まで、日常生活を支える口腔ケアについて多職種連携の観点からも考えてみたい。

日時：2019年11月22日(金)　15：30～17：30　（受付開始　15：00）

場所：住之江区在宅サービスセンター「さざなみ」3階多目的室

　　　住之江区御崎4-6-10（大阪メトロ「住之江公園駅」1番出口　東に600ｍ）

講師：大阪大学大学院　医学系研究科保健学専攻　准教授　山川みやえ先生

対象：介護支援専門員

定員：15名

申込：別紙にてFAXでお申し込みください

参加費：資料代として　大阪介護支援専門員協会会員1,000円　非会員3,000円

　　　　当日受付にてお支払いください

問合せ先：大阪介護支援専門員協会 住之江区支部　ほがらか　木之下　06-6115-2011

　＊受講前に必ず受講の手引きを一読し、受講して下さい

　＊大阪介護支援専門員協会員の方は、会員証をご提示ください

　＊介護支援専門員証を必ず持参してください